

### どれがぼくかわかる？

カーラ＝カスキン 文・絵  
よだしずか 訳

偕成社 1970年 1200円



ウィリアムは馬やスカンク、とりなどいろいろな動物になってみますが、ウィリアムのことならなんでも知っているおかあさんに、必ずみつけだされてしまいます。「どれがぼくかわかる？」「おかあさんにはわかるわ。」というリズムカルな会話と、緑と黄色を中心にした明るい絵がおかあさんの深い愛情を描きだしています。ページいっぱいの動物のなかから、ウィリアムをさがす楽しさもあります。

### どろだんご

たなかよしゆき 文  
のさかゆうさく 絵

福音館書店 2002年 743円



「どろだんご つくろ すいかみたいに でっかいの つくろ…」土をほり、水をいれ、かきまわして、どろのスープ、どろのクッキー、仕上げに、どろだんごをつくります。ページいっぱいに、子ども達の手のアップとどろが、迫力のある絵で描かれ、どろあそびの楽しさがつたわってくる絵本です。短い詩のような文章も魅力です。1989年に「年少版こどものとも」として出版されました。

### どろんこハリー

ジーン・ジオン 文  
マーガレット・ブロイ・グレアム 絵  
わたなべしげお 訳  
福音館書店 1964年 1100円



ハリーは、黒いぶちのある白い犬です。おふろが大嫌いなハリーは、ブラシをくわえて逃げ出します。いっぱい遊んで汚れてしまい、白いぶちのある黒い犬になったハリーに、うちの人達は気づいてくれません。そこでハリーは…。漫画風のすっきりした絵が、ハリーの表情をいきいきと表現し、単純ですが、ユーモアとスリルのあるお話をもりあげています。シリーズは「うみべのハリー」「ハリーのセーター」「ハリーのだいかつやく」があります。